

8. 2025 年度 環境経営目標

(1) 営業部門の環境貢献活動

当社は、営業活動において環境負荷の少ない商品・技術・サービスを顧客に提供することにより社会に貢献していくため、次の課題に取り組む。尚、課題ごとの数値目標は設定しない。

ア. 化学分野における3R推進のため、化学薬品や樹脂製品などの再利用、再使用の仕組みを提案し、廃棄物の削減に取り組む。

イ. 太陽光発電を中心とした新エネルギー等への取組みを進める。

ウ. 各営業部門は、それぞれの得意分野において、環境負荷の小さい環境配慮型製品、技術、サービスの提供を積極的に推進する。

エ. 輸送効率化の工夫と提案により、大気汚染等の環境負荷低減を推進する。



(2) 化学物質の管理

ア. 当社は、化学物質の貯蔵・販売にあたって環境関連法規が求めている安全データシート(SDS)などの資料提供を徹底することにより、取引先での事故やクレームの発生を未然に防止する。

イ. ケミカルセンターにおいては、特に次の点を環境配慮活動として掲げ、具体的に推進する。

① 物流管理規程、毒物劇物危害防止規程並びに関連する手順書、保守管理基準により、工業薬品の保管、取扱作業の安全を期する。

② ケミカルセンターごとに定める「防災マニュアル」に従って、緊急事態に対応する訓練を定期的実施するとともに、事故の未然防止に努める。

ウ. PRTR法のSDS制度 対象化学物質(第一種、第二種指定化学物質)の年間販売量の把握に努める。



(3) 二酸化炭素排出量の削減

全事業所より排出する環境負荷については、前年度（2024 年度）実績と比較して、全社方針の下、0.33%削減を目標とする。

（但し、各部門で検討・設定した数値目標の集計値を最終的な目標とする。）

省エネ化による二酸化炭素排出量削減目標を達成するために、以下の取組みを引き続き実施していく。

- ① 電力使用量削減
- ② ガソリン使用量削減
- ③ その他の化石燃料(ガスを含む)使用量の把握
- ④ 新エネルギー等の活用

(4) 紙使用量削減



全事業所で使用するコピー用紙は、前年度(2024 年度)実績と比較して、全社方針の下、0.33%削減を目標とする。

また、全事業所で使用する用紙は、全量「環境配慮型製品」*1) とする。

*1) 環境配慮型製品とは、「グリーン調達ガイドライン」を満たす製品とする。

(5) 廃棄物削減と分別回収



全事業所から排出される資源ゴミ(紙+プラスチック)は 2024 年度(前年度)実績を上回らないようにする。

- ① 一般ゴミの分別とリサイクル化推進。
- ② 機密書類を含むすべての保管書類をリサイクル資源化する。

(6) 節水と排水管理



ア. 節水の取組

- ① 賃貸ビル入居オフィスにおいては、ビル管理会社などと提携して節水への取組みを具体化していく。
- ② 自社保有のオフィスにおいては、節水のための具体的取組みを実施し、前年使用量を上回らないように努める。
- ③ ケミカルセンターにおいては、製造用希釈水と生活水を区分管理し、生活水については 2024 年度(前年度)実績を上回らないよう努める。

イ. 排水管理

ケミカルセンターにおいては、センターごとに定める排水基準により管理し、排水量を把握する。

(7) グリーン購入



ア. 印刷物、事務用箋、封筒、名刺などは、環境配慮型製品を使用し、それぞれその旨を明記する。

イ. 「グリーン調達ガイドライン」により、環境にやさしい商品の調達に努める。

(8) 地域の環境保全活動への参加



当社は、事業所ごとにそれぞれが所在する地域において行われる、環境保全に関連するボランティア活動などに積極的に参加または支援・協力する。これにより地域社会とともに地球環境保全活動の輪を広げ、社会に貢献していく。